



渡り鳥のV字飛行

「暑さ、寒さも、彼岸まで」と言われますが、今年は10月に入っても気温が30度を超す日があるなど、安定しない気候が続いています。日によって気温の差も大きく、体調を崩さないように気をつけていきたいものです。

9月20日に行われました体育大会は、午後からの雨天予報のためにプログラムを変更しての午前中短縮開催となりましたが、生徒たちの「やる気・本気」が見ている側に伝わる素晴らしいものだったのではないかと感じています。競技や演技を待っているときの緊張した表情、本番での真剣なはつらつとした表情、そして終わったあとの安堵と達成感に包まれた笑顔がとても印象に残っています。「体育大会を楽しもう」、「思い出に残る良いものを自分たちの手で創り上げていこう」という気持ちが一つ一つの動きから伝わってきていました。平日での開催となりましたが、多くの保護者の皆様、地域の方々の大きな声援をいただき誠にありがとうございました。生徒たちにとって大きな励みになったことと思います。

今年初めての全校行事である体育大会を終え、生徒たちは次の大きな行事である合唱コンクールに向けて新たなスタートを切り、日々練習に励んでいます。これからのクラスの取組の心構えとして、「渡り鳥のV字飛行」について、ここで紹介したいと思います。

日本には夏にやってくるツバメや冬に訪れる雁(がん)やハクチョウに代表される「渡り鳥」が数多くあります。この鳥たちは、数千kmの距離を飛んで日本にやってきます。渡り鳥の群れが、V字型の隊形を組んで飛んでいるのを見たことがあるでしょうか？なぜV字型で飛んでいるのか？それには大きな理由がありました。



- ・鳥が羽ばたくと、その後ろに翼端渦(よくたんうず)という飛ぶのに都合の良い、からだか浮きやすい風の流れます。後続の鳥は斜め後ろでこの風に乗ることにより、少ない力で飛ぶことができます。先頭の鳥の両側に一羽ずつ、そしてその後ろにまた一羽ずつ…こうしてV字の隊形が作られていきます。どのくらい省エネになるかというと、単独で飛ぶときと比べて25羽の編隊ならば70%、9羽でも50%も飛行距離を伸ばすことができるそうです。
- ・一番苦しいのは誰の助けもない一番先頭の鳥です。先頭の鳥が長く飛んで疲れると、編隊の後ろに回り、別の鳥と先頭を交代します。一番苦しい先頭はみんなが順に交代していくのです。後ろの鳥は、前を飛ぶ仲間を勇気づけるために鳴き声を張り上げて励ましながら飛ぶそうです。
- ・一羽の仲間が疲れて遅れ出すと、近くに寄り添って飛びます。途中で、病気になったり、傷ついたりして飛べなくなると、仲間の二羽が飛んでいき、その鳥を助け守るために地上に降ります。この二羽は脱落した仲間が回復するか死ぬまで付き添います。そして、また飛べるようになったら一緒に元の群れに追いついたり、他の群れに入ったり、自分たちで新しい群れを作ったりして飛び続けます。

渡り鳥の群れはこの助け合いを繰り返しながら遠くまで飛ぶことができます。互いの風圧を助け合い、先頭を交代し、励ましの声を掛け合い、編隊を守り、傷ついた仲間を守ることで、単独で飛ぶよりも大きな力を発揮しているのです。そこには強い結束力、絆があります。

先頭が疲れると他の鳥と交代すると紹介しましたが、このことについて興味深いデータがあります。ある大学の研究チームが14羽の編隊の一羽一羽に機器を取り付けて、それぞれがどのような行動をとるのかを調査しました。調査の結果わかったことは、鳥たちは編隊の中で頻りに位置を変えているのですが「**編隊の先頭にたつ時間については、ほぼ全員で釣り合いをとっていた**」ということです。後ろの方で前の鳥が作る上昇気球の助けを借りてばかりで先頭になろうとしない鳥はいなかったのです。

渡り鳥たちは相手の助けを借りながらも、決して依存するのではなく、自分の役割をしっかりと果たし、それぞれが**自立したうえで協力体制を作っている**のです。

合唱では指揮者・伴奏者・パートリーダーなどクラスの中で大切な役割を担っている人たちがいます。大切なのは、その人たちに頼り切るのではなく、相手の立場に立って同じ気持ちになり、自分のできることは何かを考えて取り組むことではないかと思えます。互いの個性と長所をいかし、補い合い助け合う中で、クラスとしてのまとまりが生まれたときに大きな力が発揮されていきます。生徒のみなさんの団結の力から創り出される各クラスの個性豊かな歌声が、よこすか芸術劇場に響き渡るのを楽しみにしています。

第 46 回体育大会が開催されました

9月15日に予定されていた体育大会でしたが、雨天延期となり20日に開催されました。この日も午後から雨天の予報で、短縮プログラムで実施することになりました。そのような状況の中で、生徒は精一杯の演技や素晴らしいパフォーマンスを披露しました。

また、準備や片づけなどに取り組んだ実行委員会やその他の委員会、部活動の生徒の活動も素晴らしかったと思います。「中田の青春魂！」発揮していました。

体育大会実行委員長 3-6 成田美希さん

私は体育大会実行委員を3年間務めてきました。1, 2年生の時は言われたことをやるだけだったけれど、今年委員長という立場になって「委員会を自分がまとめなくては」という気持ちになり先生方や委員会のみんなに助けをもらいながら体育大会までやりとげることができました。本番は雨が降ってしまい短いプログラムとなってしまいましたが、委員長という仕事をやり遂げることができてよかったです。

体育大会副実行委員長 3-1 森田和花さん

天候に恵まれず、短縮プログラムになってしまいましたが皆さん一生懸命競技に取り組んでいました。私はダンスが一番思い出に残っています。理由はダンスが苦手で最初はうまく踊れなかったからです。でもたくさん練習して踊れるようになりました。本番では練習の成果を出すことができました。みんなと踊ることができて楽しかったです。





個別支援合同体育祭が行われました

9月27日予定されていた個別支援合同体育祭は雨天のため翌日の9月28日に順延となり、当日は晴天の三ツ沢競技場で開催されました。日差しが強く暑い中、本校生徒が活躍しました。大須賀真弥生さんは、2年男子ボール投げ 1位。岩井沙織さんは、3年女子走り幅跳び 3位。青木恵さんは1年女子400m走 3位に入賞しました。

大須賀さん「今年もボール投げで優勝して連覇を果たせましたが、2位との差がかなり少なかったので来年はその差を広げてまた優勝できるように頑張りたいです」岩井さんは「私が待機しているときに4m跳んだ人がいたので入賞できないと諦めかけていましたが、3位に入賞できたのが、うれしかったです」青木さん「400m走で3位を取れてうれしかったです。50m走は張り切って2位を取れたのがよかったです」とコメントしてくれました。皆さん頑張りましたね。



中田連合敬老会で吹奏楽部が演奏しました

9月17日（月）敬老の日に中田小学校体育館で敬老会がありました。吹奏楽部は選曲や演出を工夫して皆さんがよく知っている時代劇シリーズ等、素晴らしい演奏を披露しました。最後は西城秀樹さんのヤングマン。感動的で、元気をもらいました。ありがとうございました。



業務アシスタントが着任しました

10月1日より新城絵理さんが職員室業務アシスタントとして着任いたしました。主に職員室で教職員の仕事のサポートをしていただきます。縁の下の力持ちです。よろしくお願いします。

10、11月行事予定

15	月	完全下校 17:00	31	水	
16	火	総合：合唱	1	木	学活：文化発表会振り返り
17	水	総合：合唱	2	金	総合：はまっ子読書の日 ジャージ販売 生徒作品展終了
18	木	総合：合唱	3	土	文化の日
19	金	学活：合唱	4	日	
20	土	中田小運動会（1年ボランティア）	5	月	朝会 公開授業週間 専門委員会（11月分）15:30（清掃なし） 学校保健委員会 15:30
21	日		6	火	
22	月	専門委員会 15:30（清掃なし）	7	水	中央委員会（11月分）15:30 市総合体育大会閉会式（文体 13:50）
23	火	総合：合唱 中央委員会 15:30	8	木	3年市学習調査 ⑥2年職場体験事業所訪問
24	水	総合：合唱 生徒作品展準備 文化発表会生徒職員係別打ち合わせ 15:40	9	金	第6回PTA実行委員会 11:00 第3回PTA3校連絡協議会 15:30 中田小クラブ交流
25	木	総合：文化発表会事前指導、合唱	10	土	土曜授業参観日 1、2年学級懇談会 3年第2回進路説明会
26	金	文化発表会（横須賀芸術劇場）	11	日	中田連合文化祭（吹奏楽部、茶道部、書道部、ボランティア）
27	土		12	月	
28	日		13	火	個別：区合同宿泊学習会（愛川ふれあいの村） 総合：学習相談
29	月		14	水	
30	火	生徒作品展 11/2 まで	15	木	後期中間テスト1日目 1、2年は3校時終了 後下校

* 予定は変更になる場合があります。